



REPORT 北ブロック入会式

2

025年12月の北ブロック入会式は17名の新会員を迎え盛大に開催されました。既存会員も多く参加し、温かい激励もあり穏やかな雰囲気では式は進みました。明るい空気の中で実施されたテーブルディスカッションでは、普段は話づらい経営の悩みも経営者仲間には打ち明けやすい、という体験ができたのではないのでしょうか。強い目的意識を持った新入会員も多く、今後の同友会運動の活性化が楽しみとなる時間でした。

入会者

澤 京佳（阪神支部 大佳）

東 久美（阪神支部 Salon de CERM）

長谷川 公紘（北第一支部（株）スコッチ）

大山 等（北第三支部 小さな会社の経営相談所）

石田 豊明（北第三支部（株）柏の森不動産）

福寿 伸一（新大阪支部（株）T.Creation）

伊藤 靖子（阪神支部（株）ITOコーポレーション）

沖本 克幸（三島支部（株）サンスポーツコンディショニング）

西村 元一（北第二支部（同）フォアサイト）

雑賀 峻良（北第三支部（株）Moaru）

成田 炳洸（北第一支部（株）ラフキャリ）

東 桂祐（阪神支部（株）VEXUM）

八倉 奈央子（北第三支部（同）奈央右衛門）

平岡 瑞希（北第三支部 社会保険労務士法人はなみずき）

西 翔太（豊能支部（同）MOVIE CONNECT）

判治 雅俊（豊能支部 グッドループコンサルティング）

宮本 恒平（北第一支部 RETRIN（株））

後列左から



REPORT 北ブロック 合同例会



北

ブロック合同例会は参加者215名を迎え、大盛況の中で実施されました。テーマは「新時代」。愛知同友会の横山氏（社会保険労務士法人そら）によるリアルな経営報告は多くの参加者の心を揺さぶり、また後半のグループ討論は参加者同士が率直に意見を交わし合う活気ある時間となりました。ゲストからも「様々な考え方にふれることができた」と大変好評で、北ブロックの魅力が強く伝わる例会となりました。本例会の開催にあたり、多大なるご尽力をいただいた実行委員のみなさま、そしてご指導・ご支援くださった関係者の方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

日 時

2025年11月27日（木）

参加者数

215名

場 所

ホテルプラザオーサカ



しみず あきこ 清水 阿紀子（北ブロック 合同例会実行委員長）



北ブロック区全国行事 年間スケジュール

はこちらから 同友会北ブロック公式サイト が開きます

<https://www.hokkyokusei.osaka.jp/block/schedule/>



同友会北ブロック公式サイト「北極星」

はこちらから

<https://www.hokkyokusei.osaka.jp/>

🔍 北極星 同友会 北ブロック

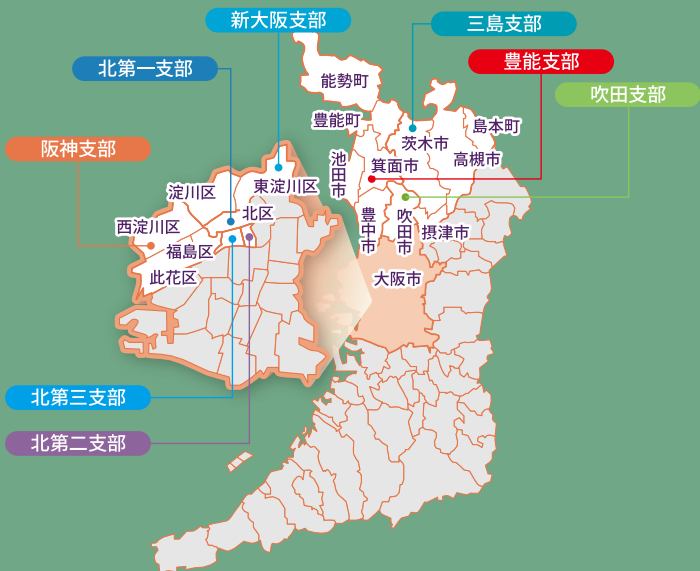
編集後記

今回の取材記事ではフレッシュな青年経営者に焦点を当てました。経営に携わり始めた時期の困難や、指針セミナーを通じた気付きには共感する人も多いのではないのでしょうか。感謝を胸に進む中井さんの今後ますますのご活躍を大いに期待しています。

北ブロック情報化・広報委員会は、北ブロックの魅力を外へわかりやすく伝える仕組みづくりに取り組んでいます。みなさまからのご意見・ご感想もお待ちしております。

おかさか てつお

🗨️ 編集人：岡坂 哲夫（北ブロック 情報化・広報委員長）



良い会社を目指すための羅針盤

TAKE FREE

Vol.

38

2026年2月1日発行

大阪府中小企業家同友会
大阪北ブロック広報マガジン

豊能支部/吹田支部/三島支部/新大阪支部
阪神支部/北第一支部/北第二支部/北第三支部

INTERVIEW

カッコいい経営者が、
情報発信で人と企業を
幸せにする挑戦

129年企業を次代へつなぐ
承継と指針経営

セントウェル印刷株式会社
代表取締役社長

なか い よう へい
中井 洋平

We
Love
Osaka

カッコいい経営者が、 情報発信で人と企業を幸せにする挑戦

129年企業を次代へつなぐ承継と指針経営

取材：阿部、岡坂、小野 文：高桑 写真：大野

129年の歴史を持つセントウェル印刷株式会社（以下、セントウェル印刷）の四代目として、2025年4月に社長に就任した中井洋平さん（以下、中井さん）。成熟産業の中で、どう生きるか・何を継ぐかを見つめ直し、経営指針の学びを通して会社の新たな姿を描いています。伝統と変革の狭間で揺れながらも、社員とともに歩むセントウェル印刷中井さんの実践を伺いました。



セントウェル印刷株式会社 代表取締役社長 中井 洋平

経営者という生き方とは

創業後、戦災を経て再建し、現在設立70周年を迎える印刷会社。中井さんは、その四代目として2025年4月に社長に就任しました。前職は大手電機機器メーカーでの営業職。安定した環境にありました。30歳を過ぎた頃、父（現会長）から「5年以内にM&A・社員承継・親族承継のどれかを決める」と伝えられたと言います。自分の人生を見つめ直していた矢先、その一言がきっかけになりました。「父というひとりの人と、同じく歳を重ねた上司の顔を比べたときに、なぜか父が幸せそうに感じることに気付きました。それから経営者という生き方に向き合いました」と中井さんは振り返ります。

約1年半のあいだ悩み抜いた末、33歳の時に家業を引き受ける決意を固めました。そして34歳の時、セントウェル印刷に入社。しかし、当時の社内には活気がなく、社員の目には光がなかったと言います。仕事で信頼関係を築くことを信条に、地道な改革が始まりました。

“学び”は、きっかけを掴む場

入社当初は、印刷やデザインの知識をつけるために猛勉強をする一方、責任感だけが先走り、先が見えないことに苦しみ日々が続きました。そして、経営者としての“軸”を持てず、成果を出せない自分に焦りを感じていたそうです。言葉には出さないものの、心中では父や社員に苛立ちを募らせることすらあったと言います。中井さんにとって、2024年に受講した経営指針確立・実践セミナー（以下、指針セミナー）は「きっかけを掴みたい」という場でもありました。

「父たちが築いてきた事業、自分がやりたいこと、大切にしたい社員、社会のニーズ。すべてが糸のように絡み合っているように感じました。ひも解くような作業には、自分自身の殻をまず何枚も脱いでいく必要がありました」

結果的に“感謝”という原点に立ち返るきっかけとなり、引き継いだ一つひとつのことを本当の意味で大切にできるようになったと言います。そこから中井さんの経営が、本当の意味で動き始めました。助言

お客様の課題に“提案”で応える ▶

セントウェル印刷では、受け身の仕事から“提案型”の仕事へと進化しています。隔週で開かれる提案会議では、デザイナーや事務スタッフが一緒にお客様の課題を分析し、解決策を考えます。これまで培ってきた印刷物、Web や動画、展示会のブースづくりなどのノウハウを組み合わせ、提案から制作まで一貫してサポートし、便利に頼れるだけではない、お客様の本当の課題に向き合う会社を目指します。社員一人ひとりの発想と挑戦が、お客様と一緒に新しい価値を形づくっています。



者の「やっと気付いたか」という言葉が胸に刺さり、「自分が変わることと、世界がこんなに変わるのかと実感しました」と振り返ります。

お客様か、社員か。その葛藤の先に見えた“両立”

指針セミナーにおいて、理念策定をする際にお客様のためと社員のため、どちらを優先するかで何度も悩んだと言います。最終的にたどり着いたのは、二者択一ではなく“両立”という考え方でした。

「全社員の物心の幸せと情報発信の提案の追求を通じて、社会の発展に貢献すること」

この理念は、社員の幸せと情報発信の提案が自社の原点と再定義し、その2つを追求することを誓ったものです。「印刷はネットやデジタルに移行しても、企業が情報発信するという営みは、創業時から変わらないし、今後ともなくなる。その先にある人の笑顔を想像できる会社でありたいと思っています」と話します。

“提案文化”を社員とともに

中井さんの挑戦は、理念を掲げて終わりではありません。中井さんがまず取り組んだのは、“提案文化”の醸成でした。受け身の受注体制から脱却し、隔週で提案会議を開催。1社のお客様の課題を、社員全員で向き合い、アイデアを出し合い、提案内容にまとめます。みんなで創る提案は、自分一人では出てこない内容に。「やれるかどうかではなく、やると決めて進む。その積み重ねが自分たちの自信に繋がっていくはず」と中井さん。

こうした“提案文化”をつくるために、誰でも意見を言える環境を意識して整えていきます。以前は会議をする習慣がなかったため、自分一人で進行してはいけなと決め、社員に進行役や議事録を任せることから始めました。そして、最初の数カ月、取り組む目的や場づくりで大切にすること（例えば、どんな意見でも否定せず発言を尊重

しよう、など）を社員へ繰り返し伝えたそうです。また、中井さんから意見を極力言わないように心がけているとのこと。

まだまだ駆け出しの提案活動ですが、社員が発言の機会に慣れ提案まで進めることができ、理念の実現に少しずつ前進をしていると感じているそうです。

情報発信で人と企業を幸せに

今後のテーマは、提案の結果を出していくこと。そして日々の活動の中で、お客様とのコミュニケーションが変わり、“提案文化”ができていること。そのために、お客様の課題に寄り添い、継続的に支援をする構想を描いています。「デザインができる便利な印刷会社から、情報発信をデザインする会社へ。その中心にいるのは、やっぱり人なんです」と中井さんは語ります。中井さんにとっての経営者としての理想は、支えてくれている周囲への感謝と喜びを基に、結果を出し社会へ貢献すること。

「情報発信のデザインとは課題解決をすること。父と叔父より受け継いだバトンを基に、提案力をみんなで磨いていきたい」と穏やかに締めくくりました。

COMPANY information

会社概要

・社名	セントウェル印刷株式会社
・所在地	大阪市北区中崎西2丁目2番1号東梅田八千代ビル4F
・URL	https://www.centwell.co.jp/
・創業・設立	1896年創業（1956年設立）
・資本金	4000万円
・社員数	10名
・同友会入会	2021年1月（2020年度）

Column

同友会とのかかわり

中井さんの同友会入会は、家業に携わり始めたタイミングと同じ2021年1月のことでした。父は北第一支部所属。一方、中井さんは地元の三島支部に入会しました。

入会当初、関わり方が分からず、同友会とほとんど接点を持っていませんでした。

ここ2年ほどでようやく参加できるようになり、同年代から先輩の経営者まで様々な業種の会員がいる同友会からは、学びと刺激をたくさんもらっているとのこと、例会後には報告者に会いに行くこともあるそうです。

中でも、指針セミナーには強い思い入れがあり、「指針セミナーで打ち解けた仲間は本当に宝物。そこでの学びを、どんどん実践していきたい」と語っていました。

